

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2022年11月号

NO. 345

TOPICS

みなさま はじめまして。

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事 遠藤 祐

MESSAGE P4

新入会員紹介ページ開設

ATTENTION P5

「インターナル・コミュニケーション講座」を開講

ATTENTION P8

「PRプランニング講座」を11月下旬からオンライン開講

ATTENTION P9

『広報・マスコミハンドブック(PR手帳)2023』を刊行

ATTENTION P11

第33回1次試験のお申込み受付12月1日開始

ATTENTION P12

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー5F

電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <https://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F

電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人: 牧口 征弘

11月号目次

11月～12月のスケジュール		—	2
MESSAGE(メッセージ)	みなさま はじめまして。	—	4
新入会員紹介ページ	4月～10月入会の皆様のご紹介	—	5
ATTENTION(お知らせ)	「インターナル・コミュニケーション講座」を開講	—	8
〃	「PRプランニング講座」を11月下旬からオンライン開講	—	9
〃	「PRプランナー2次試験対策講座」	—	10
〃	『広報・マスコミハンドブック(PR手帳)2023』を刊行	—	11
〃	第33回1次試験のお申込み受付12月1日開始	—	12
BULLETIN(活動報告)	2022年度第1回ワイガヤ会開催報告(会員限定)	—	13
REPORT(レポート)	第222回定例研究会(正会員・個人会員限定)	—	14
協会掲載記事	PRSJ in Media	—	15
事務局だより	事務局スタッフの紹介	—	16

11月～12月スケジュール

第 27 回 広報活動研究会	日 時 : 11 月 9 日(水)15:00～17:20 会 場 : 「JERA 川崎火力発電所」訪問
第 48 回 PRスキル研究会	日 時 : 11 月 9 日(水)18:00 ～ 会 場 : Zoom ウェビナー テーマ : ヤングカンヌ日本代表と審査員から学ぶ、コミュニケーションアイデアの生み方
【関西】 関西部会主催 第 286 回定例会	日 時 : 11 月 14 日(月)16:00～17:30 テーマ : デジタル時代の経済報道 会 場 : 中央電気倶楽部 513 号室 講 師 : 朝日新聞大阪本社 経済部長堀口元氏
【オンライン】 第 233 回定例研究会	日 時 : 11 月 17 日(木) 14:00～15:20 テーマ : 読売新聞の経済報道 ～ニュースの裏面を読み解く経済部の紙面作り～ 会 場 : Zoom ウェビナー 講 師 : 読売新聞東京本社 編集局経済部長 小野田徹史氏
【オンライン】 パブリックリレーションズ入門 Web 講座(秋期)	日 時 : 10 月 28 日(金)～12 月 20 日(火) 講 師 : エバラ食品工業(株) 執行役員 コミュニケーション本部長 上岡典彦氏を含む 10 名
【オンライン】 インターナル・コミュニケーション講座	日 時 : 10 月 25 日(火)～12 月 12 日(月) テーマ : 「独自の組織文化を形成する よなよなエール流 インターナル・コミュニケーション」 講 師 : 株式会社ヤッホーブルーイング ヤッホー広め隊(広報ユニット) 渡部翔一氏
【オンライン】 PRプランニング講座	日 時 : 11 月下旬開講予定 テーマ : #令和のPR発想術～社会課題の解決をめざすPRプランニングの ポイント～(仮) 講 師 : 株式会社マテリアル ブランドプロデュース局 シニアマネージャー 西野夕季子氏
【オンライン】 グローバル・コミュニケーション講座	日 時 : 12 月上旬開講予定 テーマ : 未定 講 師 : 京セラ株式会社 広報室/ダイバーシティ推進室 吉川英里氏

11月～12月の理事会・委員会・ 部会スケジュール

定例理事会	(11 月度)	日 時	: 11 月 10 日 (木)	16:00～17:30
			: 霞会館+オンライン	
	(12 月度)	日 時	: 12 月 8 日 (木)	16:00～17:30
		会 場	: 霞会館+オンライン	
教育委員会	(11 月度)	日 時	: 11 月 16 日 (水)	16:00～17:30
		会 場	: オンライン開催	
資格委員会	(11 月度)	日 時	: 11 月 24 日 (木)	14:00～15:30
		会 場	: ハイブリッド開催	
国際・交流委員会	(11 月度)	日 時	: 11 月 4 日 (金)	16:30～17:30
		会 場	: オンライン開催	
広報委員会	(11 月度)	日 時	: 11 月 24 日 (木)	16:00～17:00
		会 場	: オンライン開催	
顕彰委員会	(11 月度)	日 時	: 11 月 30 日 (水)	14:00～15:00
		会 場	: オンライン開催	
企業部会幹事会	(11 月度)	日 時	: 11 月 2 日 (水)	17:00～18:00
		会 場	: オンライン開催	
PR業部会幹事会	(11 月度)	日 時	: 11 月 15 日 (火)	16:00～17:00
		会 場	: オンライン開催	

みなさま はじめまして。

**公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
理事 遠藤 祐**

今期の通常総会を経て、新任の理事、および教育委員会副委員長、PR業部会幹事メンバーを拝命いたしました。宜しくお申し上げます。

会員の各社皆さまを始めとして、広く社会に対し、公益社団法人としての協会の存在意義、また広報の重要性、広報に従事されている企業・団体様・PR会社様の一層の地位向上に努めて参りたいと考えています。

自身の広報関連業務歴も30年近くなりましたが、以前と比べて、パブリックリレーションズの視座・技術の重要性が益々高まっていると感じます。企業・団体が社会と共生していく中で、収益を上げながら、事業の正統性やその持続性を社会から認めてもらわねばならないからです。企業・団体は「市場の中」から「社会の中」により明確に位置付けられ、変化せざるを得なくなってきました。昨今、SDGs、ESGが叫ばれている中で、企業・団体の持続性はまさに、社会に認められて初めて成り立つというパブリックリレーションズの視座そのものが、時代の中心になっていると感じています。

コーポレートガバナンス・コードの改訂により、自社のサステナビリティについての取組みを適切に開示する方向となり、財務情報に加え、非財務情報の開示に向けて、気候変動や人的資本、また人権への配慮・対応など、社会・投資家から鋭い目を向けられているのは、ご存じの通りです。これは企業・団体が社会の中で様々な課題に対し、事業を通じて、どのような新しい価値を付加していくことができるのか、と理解してもよいと思います。

協会が掲げる「パブリックリレーションズ・プロフェッショナル」とは、この価値を生み出すことができ、生み出した価値を広く伝え、またフィードバックできる回路を形成し、これらをマネジメントする人財ともいえるのではないかと思います。

協会でも、こうした視座や技術を学ぶ各種講座を増やしていければと思います。マーケティング視点での統合マーケティングの実践からコーポレートコミュニケーションまでを網羅する、企業経営視点を含めた講座の充実を図りたいと思います。

さらにはこれら企業・団体を取り巻く環境とその対応要請が如何に形成されるかにも踏み込み、世界的視点での地政学を含むルール形成、政策を含めた背景の理解なども必要になってくると思います。こうした分野は自身でも研鑽を深めていきたいと思っている次第です。

産学官連携の下、「共創」と言われる時代にパブリックリレーションズの視座で、何が企業・団体にとって本当に必要なのか、よりよい社会の実現に向けて、パブリックリレーションズ・プロフェッショナルができること、パブリックリレーションズが持つ価値をさらに引上げ、企業・団体と社会がよりよい関係になれるよう、微力ながら貢献できればと考えています。宜しくお申し上げます。

今月号から新企画として新規入会の会員（正会員）のみなさまの「自己紹介」ページを設けることになりました。初回となる今回は、4月以降にご入会いただきました正会員の皆さま（掲載希望社）をご紹介します。

（掲載は入会月、社名五十音順）

(株)インターネットイニシアティブ



皆さま、インターネットイニシアティブ（IIJ）と申します。私たちは1992年に、国内初の商用インターネット接続サービスを開始した事業者で、今年12月に30周年を迎えます。主に法人のお客様にインターネット接続、クラウド、セキュリティ、IoTや動画配信、システム構築・運用など総合的なソリューションを提供していますが、皆さまの中には個人向けモバイル「IIJmio」が馴染みのある方もいらっしゃるかもしれません。

IIJ広報部は10名少々の人員で、（ご多分に漏れず）対外発表から社内の雑事まで幅広い業務に追われて社外での交流機会は多くはありませんでしたが、PRSJを通して皆さまと役に立つ情報も悩みも共有し、有意義な交流ができればと思います。よろしくお願ひいたします！

シェイプウィン(株)



10名ほどの小さなPR会社ですが、国内と北米市場でのPR支援をしております。チャレンジする人が尊敬できる社会を創るという理念で、BtoBスタートアップ企業を中心に支援して参りました。PR業界の著しい変化と最新の顧客ニーズを捉え、会員の皆さまとの交流の中から新たなイノベーションを模索していきたいと考えております。

スリーエムジャパンイノベーション(株)



3Mは、アメリカのミネソタ州に本社を置き、120年の歴史を持つサイエンスカンパニーです。あまりなじみがない方も、セロハンテープやポスト・イット ノートの世界で初めて開発した会社と聞くと、ピンとくるかもしれません。

スリーエム ジャパンはその日本支社として日本に根付いて60年以上となります。

外資系企業としては珍しいとよく驚かれますが、営業拠点だけでなく、製造・開発拠点も日本に構え、「3メートル以内に3M製品」と言われるほど、実は身近なところでサイエンスを活用して皆様の暮らしを豊かにしています。

PRSJでの活動を通じて、さまざまな情報交換などしていければと存じますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

(株)京進



株式会社京進 広報部長の吉川信幸と申します。

この度、株式会社京進として日本パブリックリレーションズ協会へ入会させていただくこととなりました。株式会社京進といっても、関西地域以外の方にとってはなじみが薄いかもかもしれません。当社は、1975年に京都で学習塾として創業した企業で、現在は、保育園、学習塾、英会話教室、日本語学校、介護施設など、人の一生を支援する事業を、日本と世界370拠点で行っています。これまでは、元が学習塾であるだけに“真面目”が取り得でしたが、2020年に世の中に対して“ステキな大人が増える未来をつくる”企業グループになると宣言し、PR活動にも力を入れていこうと考えているところです。どうぞよろしくお願ひいたします。

(株)リブラン

住まいに「思想」を提案する



創業 53 年を迎えたマンションデベロッパーの株式会社リブラン（本社：東京都板橋区、代表取締役：鈴木雄二）です。弊社は 24 時間楽器演奏可能な防音賃貸マンション「ミュージション」や、自然素材を使ったワンストップリノベーション「てまひま不動産」を展開し、人々の幸せに“住まい”で貢献すべく企業活動を行っています。今年から PR 協会の仲間に加えていただき、早速定例研究会や各種勉強会に参加しながら、ステークホルダーとの関係性構築を実践中です。すばらしい広報活動をされている協会員の皆様と情報交換させていただきながら、広聴・広報の両輪を回し、PR スキルを磨いていきたいと存じます。よろしくお願いたします。

石井食品(株)

石井食品の主力商品である、「イシイのミートボール」は 2024 年で 50 周年を迎えます。創業当時から船橋に本社をかまえ、みなさまの声をもとに、改良を重ねてきたミートボールは国産若鶏・無添加調理でシンプルを追求し世代をこえ愛されつづける商品となりました。協会に入会することで、広報・PR のトレンドや他社活動事例などの情報をキャッチアップし、自社の活動にいかしていきたいと思っております。また、協会の他社他業種のみなさんとディスカッションを重ね、広報活動の幅を広げ、共にいい未来を築いていきたいです。

BAT ジャパン (ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン (同))

BAT ジャパンは、ロンドンに本社を置く、マルチカテゴリーの消費財メーカーである BAT グループの日本法人です。グループが掲げる「A Better Tomorrow™ (より良い明日)」を築くというパーパスのもと、健康リスク低減の可能性を秘めた非燃焼式たばこ製品への移行促進を目指しております。また、企業として D&I の促進や、オンライン学習や社内セミナーを通じた能力開発と、次世代リーダーの育成にも力を入れています。今後は BAT ジャパンの企業認知向上とより効果的な広報活動のため、PRSJ 様主催のセミナー参加や会員の皆様との意見交換などを積極的に行っていききたい所存ですので、どうぞよろしくお願いたします。

JFE システムズ(株)

弊社は、鉄鋼業界におけるシステム構築・運用で培った企画・構想力と技術力を活かし、多彩なサービスをお客様に提供しております。製造業をはじめ、金融・流通・通信などあらゆる分野のお客様に向けて、システムインテグレーション、アウトソーシング、コンサルティング、独自のパッケージ製品および、ERP を中核にさまざまな製品を組み合わせた複合ソリューションの提供など、幅広いビジネスを展開しております。貴協会に入会し、情報収集や社内外への広報、危機管理などのスキルを高めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願申し上げます。

ACAO SPA & RESORT(株)

ACAO SPA & RESORT は、静岡県熱海市に根差す複合型リゾートです。13のテーマガーデンから構成される、花とハーブのガーデン ACAO FOREST、BBQ やマリンアクティビティを1年を通して楽しめる ACAO BEACH など、70万㎡の土地を活用したリゾート事業を運営しています。近年では、若手アーティストの創作活動支援を目的としたアートプロジェクトへ参画し、アートを通じて熱海の魅力の再発見、地域活性化を目指した活動支援を行っています。日本パブリックリレーションズ協会では、さまざまな講座・セミナーへ参加しながら、企業のPR担当者との交流を図り、自社そして熱海のブランド向上につながるアイデアを吸収していきたいと考えています。

(株)トドオナダ

株式会社トドオナダは、2020年1月にクリッピング会社のベテランスタッフ4名で創業いたしました。

PR x Tech によって広報PRをDXすることがミッションです。

PR 効果測定 SaaS Qlipper (クリッパー) を開発・運営しております。

Qlipper では、特許技術により算出した仮想PVによって、今まで出来なかったメディア記事ごとの効果を算出いたします。

PR 効果が業績に与える影響を可視化し、PR と企業活動の距離を近づけてまいります。

会員の皆様のよりよい広報活動に貢献できることを願っております。

よろしくお願いいたします。

パブリックリレーションズ実務講座 2022

「インターナル・コミュニケーション講座」を開講

「独自の組織文化を形成する よなよなエール流インターナル・コミュニケーション」

教育委員会

協会では、今年度のパブリックリレーションズ実務講座「中堅実務プログラム②」として「インターナル・コミュニケーション講座～独自の組織文化を形成するよなよなエール流インターナル・コミュニケーション」を10月25日からオンライン開講しています。

コロナ禍を背景としたリモートワークの進展、勤務の自由度を高めるフレックスタイム制の導入、従業員が持つ価値観の多様化など、近年、企業において人々が働く環境は大きく変化しています。この働く環境の変化を背景に、いま重要性を高めているのが、「インターナル・コミュニケーション」。かつては、「社内広報」、「エンプロイヤーリレーションズ」とも呼ばれ、経営意思の伝達と周知、業務連絡、部門や個人の情報共有などを目的として、社内報やイントラネットに代表される多様なコミュニケーションの取組みが各社で行われてきました。

しかし今、激しい市場競争を勝ち抜く強い組織の実現には、経営理念の浸透に基づく優れた企業文化の形成と継承、全社のベクトルの一致に基づく一体感の醸成、さらに働くモチベーションの向上が不可欠となり、社内情報の伝達にとどまらない、新たな「インターナル・コミュニケーション」が求められています。独自性に満ち、優れた成果につながる「インターナル・コミュニケーション」の実現は、広報部門のみならず企業の存続を賭けた全社的な課題にほかなりません。



本講座では、バラエティ豊かな味わいで人気を集めるクラフトビールのメーカー 株式会社ヤッホーブルーイングのヤッホー広め隊(広報)から渡部翔一氏を講師として招き、同社のユニークな取組みについてご紹介いただきます。

同社が進めているのは、広報部門にとどまらず有志スタッフの自発的な活動に基づく「よなよなエール流 インターナル・コミュニケーション」。コミュニケーションに関する従来の概念にとらわれることなく、経営理念の浸透、フラットな組織文化、チームビルディングを特徴として進められる取組みは、社内を活性化し働くモチベーションを高め、市場を勝ち抜く強い組織を実現します。

講師の渡部氏には、同社経営の原動力となるユニークな「インターナル・コミュニケーション」の取組みについて具体的な事例を交えてご解説いただきます。

他社にない斬新な取組みに溢れたヤッホーブルーイングの「インターナル・コミュニケーション」を学ぶ本講座。みなさまの受講をお待ちします。

その他、講座の詳細、受講申込みについては、下記協会 Web の講座ページをご覧ください。

<https://prsj.or.jp/event/internal2022/>

(事務局 真部)

パブリックリレーションズ実務講座 2022

「PRプランニング講座」を11月下旬からオンライン開講
～「トライブとストーリーで考える令和の#PR発想術」～

教育委員会

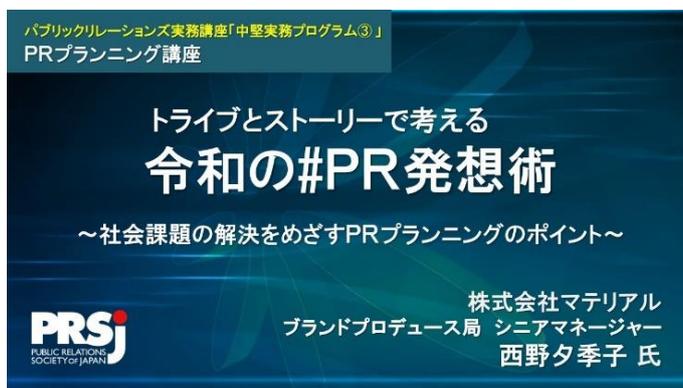
協会では、今年度のパブリックリレーションズ実務講座「中堅実務プログラム③」として、「トライブとストーリーで考える令和の#PR発想術～社会課題の解決をめざすPRプランニングのポイント～」を11月下旬からオンライン開講します。

多くのPR関係者が今でも重要と考えるPRのマーケティング的な目的は、市場における商品やブランドの普及・拡大です。かねてより企業のPR部門はメディアにおける最大限の露出を目標にしたパブリシティ活動に精力的に取り組む、そのことが一定のマーケティング的な効果をもたらしていました。

しかし時代が「令和」を迎え人々の価値観は今まで以上に多様化し、またネット利用の拡大を背景にテレビや新聞を中心としたメディア環境も大きく変化したことなどから、パブリシティを中心とした従来のPR手法で大きな成果を上げることは、極めて困難となっています。

SDGsが世界の人々の関心を集めその目標の達成が重視される今、PRについての考え方も大きく変わりつつあります。商品やブランドのパーパス（存在意義）について人々の共感や支持を高めるには、人々との良好な関係性を構築しながら課題を可視化して社会的な意味付けを行うこと、また真に対象となるPRターゲットについて徹底的に検討し的確に設定するなど、活動のプランニングにおいて従来とは異なるPR発想が求められています。

本講座では、株式会社マテリアルから、幅広い分野におけるPR、ブランディングに経験の深い西野夕季子氏をお招きいたします。ご講演はPRに関する考え方をはじめ、「トライブ・マーケティング」を意識したPRターゲットの設定、課題設定における社会的視点の導入の考え方、さらに課題解決につながるシナリオ作成法のポイントについて、ご自身が手がけたPR事例を交え要諦をおさえた講義でお話させていただきます。



社会課題の解決を考えPRプランニングのポイントを学ぶ本講座。皆様の受講をお待ちいたします。

講座の詳細、受講申込みについては、11月下旬から協会 Web サイトの講座ページでご案内します。

(事務局 真部)

パブリックリレーションズ実務講座 2022

「PRプランナー2次試験対策講座」 今年度における講座全科目の改訂作業を完了

教育委員会

協会では、4月に改訂されたPRプランナー試験公式テキスト「2022-2023年度版 広報・PR実践」に準拠して改訂を進めてきた「PRプランナー2次試験対策講座」（以下、「2次対策講座」）について、遅れていた第12章コンテンツの編集を完了し11月初旬から公開を始めました。

これにより今年度における「2次対策講座」の改訂作業はすべて終了し、受講者はテキストに対応した最新のコンテンツの履修を通じて2次試験に取り組めることになりました。



「PRプランナー2次試験対策講座」は毎年2回実施される「PRプランナー資格認定検定2次試験」の受験者を対象として、試験範囲の解説を通じて合格に向けたポイントを習得していただく試験対策講座です。

講座では2次試験の対象となる「科目A」～「科目D」の内容をそれぞれの分野に造詣の深い講師が解説を行い、テキストを一読しただけではわかりにくいそれぞれの領域に関する理解を深めます。特に、受験準備の難しい「科目D」（時事問題）については、時事問題の傾向とともに試験に活用できる対策が解説されています。

本講座はインターネットを活用したWeb講座（オンデマンド配信）であり、パソコン・スマートフォン・タブレットなどを利用して、時と場所を選ばずご自身の都合にあわせて講座を柔軟に受講し、受験準備を進めることができます。このため日々の予定に追われるご多忙なみなさまも、パソコンやスマホなど手元の通信端末を利用して、都合のよい時間に、試験対策に必要な内容を理解できるまで、何度でも繰り返し履修することができます。

本講座は2次試験合格に向けた最短コース。試験合格をめざす皆様の受講をお待ちします。

講座の詳細ならびにお申込みについては、下記URLの講座ページをご覧ください。また、当協会の会員のみなさまは、会員専用マイページからお申込みいただくことができます。

<https://prsj.or.jp/event/2nd-2019/>

なお今後、「PRプランナー試験」は、2023年2月に第33回1次試験、3月に第32回3次試験の実施が予定されています。協会ではそれぞれ対応する「1次試験対策講座」、「3次試験対策講座」を開講しており、受験者は講座受講を通じて効果的に受験対策を進めることが可能です。

「PRプランナー試験対策講座」は、PRプランナー資格取得への近道。合格をめざすみなさまの受講をお待ちいたします。

（事務局 真部）

『広報・マスコミハンドブック(PR手帳)2023』を刊行

広報委員会

『PR手帳』は協会設立以来継続して発刊され、今年度で43回目を迎えます。

11月25日(金)に書店店頭に並ぶ予定です。

最新のPR・マスメディア情報を満載したデータ集であることから、マスコミへのアプローチに不可欠の一冊、“情報源バイブル”として、広報・PR、宣伝・販促、IR・CSRの担当者を中心に、幅広く活用されています。

さらに今回の「PR手帳2023年版」では、内容の一部を刷新し、ネットメディアに関する詳細な説明やオンラインメディアにおける運用のポイントなど、実務により役立つ内容を充実させ、最新データに更新しています。

●主要コンテンツと掲載データ：

今を読み解くkeyword/知っておきたいFact data/「パブリックリレーションズ」の解説/広報・PR実務に役立つチェック&フロー(ネットメディアに関する解説を新たに追加)/部数・視聴率最新データ/PR・IR用語ミニ辞典/PR関連団体/企業の文化施設/主要メディア連絡先一覧/主要サイト一覧/記者クラブ/官公庁・各種団体/イベント会場/2023年記念日カレンダーなど

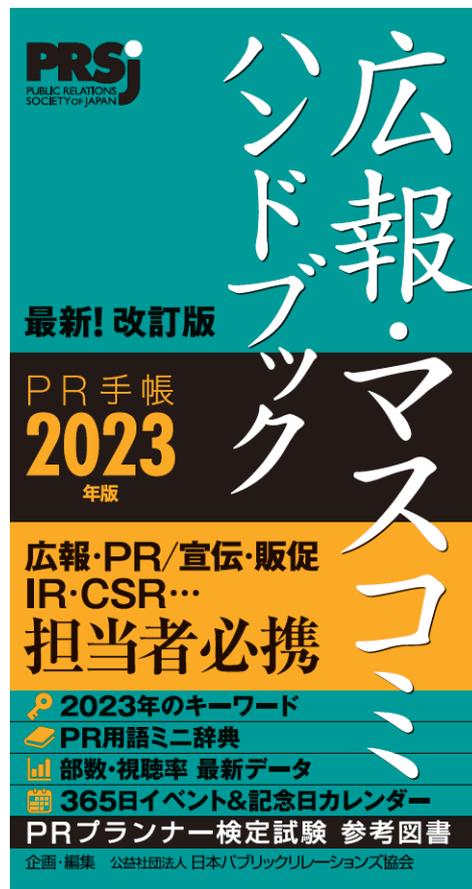
●価格：2,035円(1,850円+税)

(正会員は1,120円(税込)表紙カバーはありません)

●販売：協会事務局、首都圏・大阪・名古屋等全国主要書店で広く販売されています。

事務局では随時注文を承っておりますので、お問い合わせください。

なお、協賛広告のご出稿をいただきました会員会社各位には、この場をお借りしてお礼申し上げます。



表紙カバーデザイン

PRプランナー資格認定制度／検定試験

第33回1次試験のお申込み受付を 12月1日(木)から開始します

—試験期間は、2月11日(土)～26日(日)まで—

資格委員会

2022年度後期(第33回)1次試験のお申込み受付を12月1日(木)より開始します。

第33回1次試験はCBT方式で、試験期間は2023年2月11日(土)～2月26日(日)の16日間で実施します。本1次試験は広報・PRに関する基本的な知識を問う出題となり、これまでに14,200名が受験し、10,631名が合格しております。

ぜひ受験をご検討いただければ幸いです。

- 全国に開設されたテストセンターで、PCを使って受験していただきます。
- 16日間の試験期間で、ご都合のよい日時・会場を選択できます。
- 受験料のお支払いはクレジットカード払い、コンビニ払い、Pay-easy(ネットバンキング)からお選びください。(手数料は無料です)
- 今回は定員の制限なくお申込み可能ですが、ご希望の日時・会場が先約で埋まってしまう場合もありますので、お早めにお申込みください。

【1次試験 お申込みから合否通知までの流れ】



【PRプランナー資格認定制度／検定制度 第33回1次試験 実施概要】

試験期間	2023年2月11日(土)～2月26日(日)
仮申込み期間	2022年12月1日(木)正午～2023年1月27日(金)23:59まで ※PRプランナー資格制度 Web サイトでのお申込みとなります。 (本申込に必要な受験コードを取得)
本申込み期間	2022年12月1日(木)正午～2023年2月3日(金)23:59まで ※CBTS Web サイトにユーザー登録後、同サイトでの本申込みとなります。 (受験日時・会場選択、受験料のお支払い)
合否発表	2023年3月8日(水)正午
試験出題数／試験時間	50問／80分
合格基準	全出題数に対して正答率70%以上で合格
対応公式テキスト	広報・PR概説(2022年度版)

試験スケジュールにつきましては、変更する可能性もございますので、下記のPRプランナー資格制度 Web サイトでご確認くださいませう、お願い申し上げます。

PRプランナー資格制度 Web サイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



会員限定**2022年度 第1回 PR業ワイガヤ会(オンライン)
～グローバルな視点から見たPRの最新の潮流～****PR業部会**

日本パブリックリレーションズ協会PR業部会では、若手・中堅PRパーソンを対象とした交流の場「PR業ワイガヤ会」を2017年から企画、開催しています。「PR業ワイガヤ会」はゲストの方を中心に、普段の仕事のお悩み相談を含め、所属企業を超えた横の繋がりを作っていただくためのカジュアルな交流会で、参加者はゲストも含めてお酒やお茶などを飲みながらリラックスしてお話をさせていただくスタイルが毎回ご好評いただいております。

今年度は、新型コロナウイルスの影響も考慮しオンラインで10月12日(水)18時半より開催いたしました。

正会員・個人会員限定

第222回定例研究会

コロナ禍が変えた流通とマーケティング

～ポストコロナにおける消費経済を展望する～

**講 師:日本経済新聞社 日経MJ編集長
永井伸雄氏**

第222回定例研究会は、9月28日(水)オンラインで開催しました。講師は日本経済新聞社 日経MJ編集長 永井伸雄氏。テーマは「コロナ禍が変えた流通とマーケティング ～ポストコロナにおける消費経済を展望する～」でした。

PRSJ in Media

● 10月1日（土） 『月刊広報会議』（宣伝会議）11月号

『月刊広報会議』11月号における当協会の連載コラムで、10月25日まで当協会が行った「PRアワードグランプリ 2022」のエントリー募集に関する本田哲也審査員長のコメントが紹介されました。

コラムでは、今年度は社会の不確実性が前提となったうえで取組まれたエントリーが多くなると見込まれること、またエントリーの傾向としては、1つはアイデアやクリエイティビティが光るもの、もう1つは地道でも長期的に成果を出している取組みが多くなり、多彩かつPRの可能性を感じさせるエントリーを期待したいという、今年度のPRアワードグランプリに向けた本田哲也審査員長によるコメントが述べられています。

あわせて、エントリー締切後におけるPRアワードグランプリ各賞の決定、12月15日の表彰式の予定などにも触れられています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]

■■■■■■■■■■ 協会からのお知らせ ■■■■■■■■■■

PRSJの公式SNS更新中です！ぜひご覧ください♪

Twitter : <https://twitter.com/PRSJinfo>

Facebook : <https://www.facebook.com/prsj1>

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ 事務局だより ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

普段、なかなか皆様のお目にかかる機会のない“事務局スタッフ”を今号からご紹介させていただきます。ご質問やご意見など、お気軽にご連絡ください。よろしくお願いします。

■真部 一善（まなべ かずよし）

会員のみなさま、こんにちは。教育委員会の講座・セミナー事業を担当している真部です。

私は、編集者を経て1980年代後半からサン・マイクロシステムズ、日本オラクルというIT系の企業で広報を担当、以後は広報の仕事にどっぷりと浸かってきました。特に日本オラクルでは、現場における広報とIRの責任者としてIPOも経験、当時の名物社長やラリー・エリソンCEOの広報を担当し、数々の面白い経験をしたことが懐かしく思い出されます。

以後、広報コンサルタント、投資会社の広報部門を経験し、2007年には、第1回試験でPRプランナー資格を取得。おそらく事務局では唯一の資格保持者でしょう。そして2010年3月から協会の仕事に就きました。最近思うのは、やはり広報の世界が激変したこと。メディアリレーションズ全盛の時代から企業広報は大きく変貌したことを感じます。今後どうこの世界が変わるのか？引退してもいい歳になりましたが、その世界を眺めながら仕事をしたいと考えています。

■依田（よだ まよ）

主に、会員登録に関するお手続きや、PRアワードグランプリ等の顕彰事業を担当しております。

今年のPRアワードグランプリでは、過去最高タイ107件のエントリーをいただきました。

ご応募いただきました皆様、ありがとうございます！！

毎年この時期に多くのESやプレゼンを拝見して、皆さまの“PR”に注ぐ熱意や思いに胸が熱くなり、優れたPR事例に触れる贅沢な時間を過ごさせていただいています。

事務局の中では比較的会員の皆様と直接やり取りをさせていただく機会が多いので、名前だけでも（割と覚えやすいので笑）覚えていただければ幸いです。

今後も、会員の皆様はもちろん、PRSJに関わっていただくすべての皆様のお力に少しでもなれるように努めてまいります。何かお気づきの点などございましたら、ご意見いただきたく存じます。

■鈴木 賀央里（すずき かおり）

初めまして、事務局の鈴木賀央里と申します。

事務局では、国際・交流委員会、広報委員会、企業部会、PR業部会、理事会等の運営のサポートをしております。

最近協会のSNSの更新を↑の依田さんと担当しており、どうしたらよりよい発信ができるか試行錯誤しながら更新しております。

ぜひ皆様PRSJのSNSをフォローして見守っていただければと思います！！また、パブリックリレーションズのプロフェッショナルの皆さまからのアドバイスもお待ちしております。

どうぞよろしくお願いいたします。

★★★PRSJのSNS★★★

Twitter : <https://twitter.com/PRSJinfo>

Facebook : <https://www.facebook.com/prsj1>

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、
よろしく願いいたします。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

FAX 03-5413-2147

※禁転載